

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-54C	14-004	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Alcohol and liver cancer: a systematic review and meta-analysis of prospective studies. 飲酒と肝臓がん：前向き研究のシステマティック・レビュー及びメタ・アナリシス		
<b>執筆者</b>		
Turati F, Galeone C, Rota M, Pelucchi C, Negri E, Bagnardi V, Corrao G, Boffetta P, La Vecchia C.		
<b>掲載誌</b>		
Ann Oncol. 2014 Aug;25(8):1526-35. doi: 10.1093/annonc/mdu020.		
<b>キーワード</b>	<b>PMID</b>	
肝臓がん、多量飲酒、メタ・アナリシス	24631946	
<b>要 旨</b>		
<b>目的：</b>		
いくつかの研究が、多量飲酒と肝臓がんとの関連を報告しているが、飲酒量の増加とともに肝臓がんのリスクが増加するかどうかは明らかにされていない。今回、飲酒と肝臓がん発症に関するシステマティック・レビュー及びメタ・アナリシスを実施したので報告する。		
<b>方法：</b>		
MOOSE (Meta-analysis Of Observational Studies in Epidemiology) ガイドラインに従い、システマティック・レビュー及びメタ・アナリシスを実施した。PubMed 及び EMBASE を用いて、2013 年 4 月以前に出版され、一般住民を対象とした前向きコホート研究及びコホート内患者対照研究を検索した。メタ・アナリシスには、ランダム効果モデルを用いた。		
<b>結果：</b>		
19 の前向きコホート研究の成績を報告した 16 の文献を同定した。全コホート研究を統合したところ、4,445 例の肝臓がん発症及び 5,550 例の肝臓がんによる死亡を認めた。非飲酒者に比べ、1 日あたり 3 基準飲酒量未満の中等度飲酒者における肝臓がんの統合相対危険は 0.91 (95%信頼区間 0.81-1.02)、1 日あたり 3 基準飲酒量以上の多量飲酒者における統合相対危険は 1.16 (95%信頼区間 1.01-1.34) であった。相対危険は、コホートにより大きく異なっていた。飲酒量と肝臓がんの関連を検討したところ、飲酒量の増加とともに肝臓がんのリスクが上昇した(1 日あたりの純アルコール消費量 50g で 46%、100g で 66%のリスク上昇)。		
<b>結論：</b> 1 日あたり 3 基準飲酒量以上の多量飲酒では肝臓がんのリスクが増加するが、中等度までの飲酒においては明らかな関連を認めなかった。		